



## 小田原なぎさ会通信

No.31

2021年10月1発行

私たちは、「精神に障害を持つ皆さんをはじめとして、色々な障害を持つ皆さんが誇りある社会の一員として自立した生活を送ること」を支援する活動をしています。①施設の設置・運営、②普及・啓発、③関連先との連携、が事業の中心です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### <中期的な活動指針>

## 広げよう！『活動の輪』

理事長 乾 恒雄



今なお全世界的に広がっている新型コロナウイルス感染症は、日本でも一昨年の年始早々から現在まで概ね2年という長期にわたって私たちの生活や活動に大きな影響を与え、このウイルスに翻弄される不安な日々が続いています。一方、ワクチン接種が進むと共に、色々な投薬の開発なども進展している中で、まさに今がこのウイルス感染の収束に向けた勝負の時と感じています。「世界中のみなが力を合わせて、以前の日常を取り戻す為の挑戦の時！」と強く思います。

さて、今年度も基本方針として、「昨年度の取組みを踏襲し、その内容の更なる充実を目指す」ことを掲げて活動を開始しました。繰返し発せられる「緊急事態宣言」の中、昨年度の経験を活かして色々な工夫を盛込みながら活動を継続しています。1年の最大イベントである「2021年(令和3年)度の通常総会」は、昨年度と同様に3密を避け最小限の人数に絞って5月21日に開催し、無事終了いたしました。会員の皆様のご理解とご協力を深く感謝を申し上げます。また、認証を得て5年になる「認定 NPO 法人」の更新は、更新に伴う申請書類審査と共にその後の実態確認審査を無事通過し、有効期間を更新(更に5年間)することができました。そして、コロナ禍の中で生み出した初めての自主製品『エコマグネット』は、創出期から製作技能確立期を経て、販売拡大期へ推移させるチャレンジを開始しました(詳細次ページ参照)。9月25日に開催を計画した「創立15周年記念式典」は、ウイルス感染急拡大の状況を踏まえ、残念ながら12月に開催を延期する判断をしました。まだまだ困難の多い状況下ではありますが、今後も色々な工夫をしながら、活動を継続していきます。

標記の中期的な活動指針「広げよう！『活動の輪』」は、2019年度(令和元年)に策定し、5年計画として今年度が折返しの年度になります。この指針の本質は「普及啓発事業の強化」にあり、多様性の社会の中で「障害を持っている皆さんも大切な私たちの仲間として共に暮らしていく地域・社会を作り上げていく動きを広げていきたい想い」にあります。この推進強化に向け、上記「広げよう！『活動の輪』」を合言葉として、私達の活動にご理解と共感を持っていただける仲間を増やしていきましょう！



小田原なぎさ会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

上記の想いや私たちの活動は、「SDGs」にも①福祉の促進や差別の解消・不平等の是正、②自然環境の保護及び回復(持続可能な生態系や森林の保護・回復、気候変動の軽減等)への取組みによる『誰一人取り残さない』持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す思想など、深いつながりを持っていると捉えています(詳細次ページ参照)。

皆さんもこのような市民・社会活動を私たちと一緒に推し進めていきませんか?!是非とも会員になっていただき、活動の輪を広げていく心の仲間になっていただくと嬉しく思います。

このページでは、私たちの法人活動や運営施設「小田原なぎさ作業所」での各種活動・イベントなどの様子を中心に紹介させていただきます。

# 私たちの活動とSDGs

SDGsとは、2015年の国連総会で採択された目標であり、「Sustainable Development Goals」の略称で、日本語では「持続可能な開発目標」と示されています。2030年までの達成を共通目標として、17の目標項目から構成され、この目標達成により、2030年以降も“持続可能な社会”の実現継続を目指しています。世界基準の「行動計画」と言っても良いでしょう。

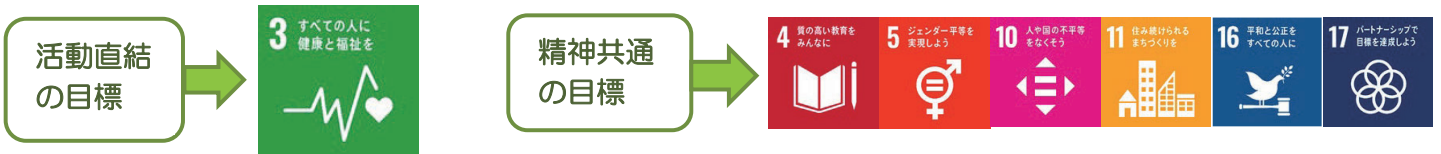
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標



下記のような事業・活動を通して、SDGsに深くつながる取組を推進!!!

## 1) 障害者の自立支援活動 ～施設設置・運営、普及・啓発、連携 の各事業で共存社会へ～

- ①施設設置・運営：地域に根差した活動基盤として福祉施設「小田原なぎさ作業所」を運営。色々な障害を持つみなさんが日々の集団活動(作業やイベント)を通して社会性などを磨き、自立への道につながる。キーワードは、「気軽に立ち寄れる居場所作り」と「本人の希望や特性を配慮した相談・就労支援」。
- ②普及・啓発：最も重要で最大の課題と捉えているのは、『取巻く社会も当事者もお互いに歩み寄り、お互いに理解を深める努力を積み重ねる中から、共に生きる社会の実現』を目指す活動。この精神は、障害の有無だけでなく、人種・民族・宗教・性別・貧困格差など様々な差別や不平等の解消にも相通じる活動の原点。
- ③連携：志を共に、色々な活動団体や自治体などが、協力・協働することで最大の成果を生み出す。

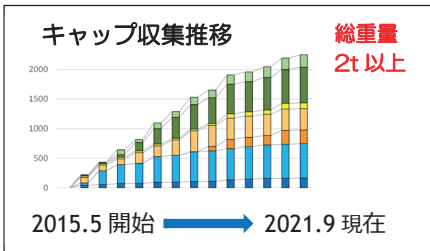


## 2) エコキャップ活動 ～ペットボトルのキャップ回収による「自然保護」と「ワクチン支援」～

「私たちも誰かを支援できる!!」を合言葉に、作業所のメンバーが自主活動として6年前から取組んでいます。集め、集まったキャップは、メンバーの手で選別した後に回収企業へ引渡し、再生されて新たな資源に生まれ変わります(自然保護活動)。この活動で得られたお金は、各種企業・団体を経由してワクチンに変わり、世界中の必要とする方々に接種されます(支援活動)。多くの応援をいただき、ポリオワクチン換算で2250名分を達成!!!



回収企業へメンバーから引渡し



## 3) エコマグネット ～コロナ禍の中で生まれた“アップサイクル(Upcycle)製品”～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、通所メンバーの日常的な生産活動である受託作業が激減する困難に陥った2020年の夏。この打破に向けて1ヶ月未満の超短期間で創出した自主製品『エコマグネット』は、エコキャップ活動で集めたキャップの一部を活用した環境に優しいシンプルなデコレーションマグネット、“アップサイクル(Upcycle)製品”です。



使用済みから、新たな価値ある製品へ!



# 自主製品『エコマグネット』販売の拡大展開

左記の『エコマグネット』は、当初の普及啓発活動用途から、外部の企業や団体及び個人の皆様から製作依頼をいただけるまで成長してきました。そして今、一般市場での販売を目指して更に魅力ある製品に発展させ、販売の拡大展開を目指す「販売拡大プロジェクト」に着手しました。

一般販売用エコマグネット検討中!!!



\*オリジナルデザイン：好きなデザインや写真(家族・友達・ペット等)を使ったオーダーメイドOK。行事の参加賞・ノベルティ・お店の販促用など色々な使い方を。当法人ホームページからもご注文いただけます!!!

\*1個(50円購入いただくと、材料費20円を除いた30円が製作したメンバーの工賃に！  
このような「障害者支援の形」もあります。



どれを買お〜かな?!  
可愛いのが一杯で目移りしています

◆販売拡大に向けて！ エコマグネットは製作開始から2年目を迎えました。この度、今までのオーダーによる製作・販売に加えて一般市場での販売にチャレンジすることになり、このプロジェクトのまとめ役を担当することになりました。一般販売の製品として新たなデザイン検討・製作・その販売方法やルートなどを精一杯考え、推進して行く所存ですので、よろしくお願い致します。 販売拡大プロジェクト 主担当 矢藤隆

## 第8回なぎさ祭

毎年恒例イベントの「なぎさ祭」を9月24日に開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年も昨年同様に参加者の人数制限・検温・アルコール消毒・マスク着用、そして常時換気など感染防止対策をしっかりと打ちながらの実施。メンバーさんによる短歌発表やこの1年を振り返った想いの発表・メンバーOBや会員の皆さんも参加したクイズ・ゲームなど盛りだくさんの構成で、規模は縮小しても充実した暖かいお祭りになりました。



最後は参加者全員で集合写真！



短歌発表：  
クスッと笑える作品も



「1年を振り返って」の発表：  
コロナ禍の中でも、工夫して  
色々なイベントをやりました。  
1つ1つを思い出す！



ジェスチャーゲーム：うまくお題を伝えられるかな？

### ◆メンバーさんの感想

- ・新型コロナウイルスの中で密にならないでできたことが良かったと思います。(M.Hさん)
- ・短歌の発表でメンバーの気持ちや思いが伝わって良かったです。(R.Tさん)
- ・来年は盆踊りなど今までやっていたプログラムを皆さんとやりたいです。(A.Nさん)

## 事務局からのお知らせ

認定NPO法人小田原なぎさ会では、毎月下記のような様々なイベントを企画しております。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは事務局まで！！

### ●今までの主な活動（R3年4月～R3年9月）

4/ 1	機関紙 小田原なぎさ会通信 No.30 発行	6/ 9	畑体験(収穫)実施(形式工夫)
4/ 9	畑体験(管理)実施(形式工夫)	6/16	認定NPO 更新通知書受理
4/21	令和3年度 第1回理事会開催(形式工夫)	9/ 1	作業所自主の防災訓練実施(形式工夫)
5/21	2020年(令和3年)度 通常総会 開催(形式工夫)	9/ 8	令和3年度 第2回理事会開催(形式工夫)
6/ 2～	団体支援事業応募・参加(神奈川県主催)	9/22	障害者書道・写真全国コンテスト参加
		9/24	「なぎさ祭(第8回)」開催(形式工夫)

\*新型コロナウイルス感染症の影響で、畑体験(収穫祭)・バス旅行・新田公園夏祭りなどのイベントは実施及び参加を中止、また第1回地域ネットワークも広域及び近隣共に開催を中止しました。

### ●今後の主な活動予定（R3年10月～R4年3月）

10/ 1	機関紙 小田原なぎさ会通信 No.31 発行	12/上旬	楽しい音楽会参加(市事連主催)
11/17	第2回ネットワーク会議(広域)開催	12/17	クリスマス地域交流会開催
11/27	UMECO 祭り参加(物販：エコマグネット)	2/16	第2回ネットワーク会議(近隣)開催
12/ 4	「法人創立 15周年記念式典」開催 (当初計画の9/25から延期して開催)	3/18	令和3年度 第3回理事会開催
		3/中旬	畑体験(植付)実施

\*新型コロナウイルス感染症の影響で、赤い羽根共同募金活動・新田公民館文化祭・ハートフルキャンペーンなどのイベントは実施及び参加を中止する予定です。

### ●小田原なぎさ会への入会のご案内と寄附について

#### ★会員大募集中：一緒に障害を持つ皆さんの多面的な支援を進めましょう！！

会員になっていただくことだけで、障害者の支援活動に参加していただけます。大切に考えていることは、『皆さんの想いや心であり、仲間意識』なのです。直接的な活動の時間確保を求めるようなことはありません。

#### ◆小田原なぎさ会会費について

- ・正会員：(個人) 入会金 1,000円 年会費 3,000円 (団体) 入会金 5,000円 年会費 10,000円
- ・賛助会員：(個人) 入会金 1,000円 年会費 1,000円/口 (団体) 入会金 5,000円 年会費 5,000円/口

\*事務所へご持参、金融機関へお振込みの他、新たに口座から自動引き落としも選択できるようになりました。

#### ★皆さまからのご寄附による、ご支援や活動参加をお願いいたします！！

当法人は『認定NPO法人』及び『指定NPO法人』を取得しています。寄附をしていただきますと、申告することで国税と地方税をあわせて、**寄附金額の最大50%が税額から控除**されます。

法人からご寄附をいただきました場合にも、一般寄附金額の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられておりますので、トータルの**損金算入限度額が拡大**されます。

\*寄附金は下記どちらかの銀行口座へお振込みいただくか、NPO法人事務所へご持参願います。

尚、寄付金受領証明書を発行する際に、ご住所・ご氏名が必要なため、先ずは事務局にご連絡願います。

■ゆうちょ銀行 記号10970 番号34276131 トクヒ)オダワラナギサカイ

\*他銀行から振り込みの場合 (店名)〇九八(ゼロキュウハチ)(店番)098 普通貯金3427613

■さがみ信用金庫 南鴨宮支店(普) 0226591 トクヒ)オダワラナギサカイ

発行：認定NPO法人 神奈川県・小田原市指定NPO法人 小田原なぎさ会

〒250-0875 小田原市南鴨宮3-16-20

Tel/Fax 0465-47-4513

E-mail o-nagisa@nifty.com

ホームページ <https://www.nagisakai.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/odawaranagisakai>

小田原なぎさ会のホームページをご覧になるには  
検索サイトで「小田原なぎさ会」と入力いただくか  
右のQRコードをスキャンでアクセスできます

